

瑞浪市景観計画策定委員会 第5回 委員会

議 事 要 旨

日時：平成27年1月29日（木） 9:30～:11:20

場所：瑞浪市総合文化センター 視聴覚室

出席者

松本直司（名古屋工業大学大学院工学研究科 教授）
道尾淳子（アトリエサノ+コンテ 元愛知淑徳大学メディアプロデュース学部 助教）
宗宮裕雄（岐阜県多治見土木事務所 所長）
山本敦司（岐阜県東濃建築事務所 所長）
梶田正紀（岐阜県建築士事務所協会 会員）
伊藤光昭（瑞浪商工会議所 専務理事）
永井恒（瑞浪市農業委員会 会長）
安部利美（瑞浪市文化財審議会 会長）
小栗昭治（造園緑化協会陶都支部瑞浪分区 分区長）
大山理晴（瑞浪市連合自治会 役員）
安藤則通（公募市民）
鈴木奈津子（公募市民）



議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - (1) 第4回委員会以降の修正内容について
 - (2) 瑞浪市景観計画(案)
 - (3) 今後の予定について
4. その他の質疑応答
5. 閉会

議事要旨

(1) 第4回委員会での意見と対応、(2) 瑞浪市景観計画(素案)、(3) 今後の予定等について

【質疑・意見】 ※“→”以下は事務局の回答。

- ・今日の委員会の結果を受けて印刷に入りますか。〈委員長〉
→4月以降にパブリックコメントなどによる地元意見の集約や都市計画審議会を予定しておりますので、印刷はそれ以降になります。また、表紙についても良い写真があればぜひお知らせ頂きたいと思います。
- ・農地に関する考え方ですが、田んぼの上に太陽光発電が設置されると今までの田園風景が変わってくる。野放しで良いのかと感じている。農振農用地については、特にどうやって調和を図っていくかが大切ではないか。〈委員長〉
→日吉に実際に設置された太陽光発電を見に行きましたが、確かに景観上は問題があると思います。ただ、現状では、何らかの配慮をお願いすることぐらいかと考えています。
- ・営農しながら、ソーラーパネルも設置している。県の会議でも農地転用の問題については、話題になるが、今のところ太陽光発電に関する景観については議論になっていない。〈委員〉
- ・非常に難しい問題なので、段階を踏んで取り組んでいくことになると思います。よし悪しを判断するにも客観性が必要になりますので、どの様な手順で行うかを検討しなければなりません。本景観計画では、少なくとも太陽光発電のパネルが、景観上の課題であることを皆さんに認識してもらうような記載としておくことが必要ではないでしょうか。〈委員長〉
→承知しました。
- ・これからパブリックコメントということですので、表紙には(案)の表記を入れておいた方が良いでしょう。重要伝統的建造物群保存地区の指定に関する動きもあるようですので、必要があれば、それらを反映していくことにな

ると思いますし、大きな修正があれば、委員にも報告をお願いします。それから、表紙についても写真を入れることはどこの市でもやっていますので、瑞浪市にゆかりのある方で、絵を描くのが得意な人がいれば、スケッチにしても良いと思います。ただ、写真と違って費用のこともありますので、可能かどうかについては、ご検討下さい。あと、写真や写真の表題に黒枠を付けているページがありますが、これは無い方が良いでしょう。大きい方が見やすいので、そのあたりは適宜見直して頂ければと思います。〈委員長〉

→承知しました。

・冊子としてまとめれば、その後はどうなりますか。〈委員〉

→景観条例とともに公表し、実際に届出等に関する運用が始まります。また、重点区域の指定について検討していく予定です。住民への周知を図ることについては、概要版等の配布が考えられます。

・その他、ご意見ありますか。〈委員長〉

・p42 の名簿ですが、造園緑化協会の前に岐阜県と入れておいて下さい。〈委員〉

→承知しました。

・p30 の陶地域の将来目標に農山村景観という単語がありますが、瑞浪市の景観特性や課題などでは、集落や山並みなどはあっても農山村という表現が見当たらないので、少し触れておいた方が後へのつながりが良い様に思います。それから、誰がこの景観計画を目にするかにもよりますが、固有名詞などは読めないものもありますので、ルビを振ることも良いかも知れません。〈副委員長〉

→承知しました。

・p40 には住民活動が見えるような写真を入れてはどうですか。景観計画はもりづくりより、ひとをつくる活動が大事ですので、人影が見えるような写真が良いと思います。〈委員長〉

→各地域のまちづくり活動の写真がありますので、それを入れるようにします。

・p8 のマップですが、p3 にシデコブシの写真を載せていますので、マップにもシデコブシを記載してはどうですか。〈委員〉

・どこにあるかを知らせることによって、それを大切にするという考え方もありますね。〈委員長〉

→検討します。

・今後の予定については、審議会や協議会の項目を入れた予定の方が、今後の動きが分かっていいと思います。

→承知しました。

・景観計画が策定された後は、地域協議会がどのような動きを行っていくかで違ってくると思います。ひとつの地域協議会だけでなく、複数の組織が立ちあがれば素晴らしいことです。p39 の図も複数の地域協議会をイメージできるようにした方が良いでしょう。〈委員長〉

- ・計画書に関する意見は出尽くしたようですし、今後も気になる点があれば、随時事務局に連絡をして頂くとして、策定委員会としては、概ねこれで計画がまとまったこととしたいと思います。では最後に皆さんから一言ずつお願いします。

<委員>

- ・昔の建物など、古いものを古いまま残すやり方もありますが、生活が伴わないと難しい気がしています。古いもの、昔のものを新しい景観としていく残し方ができれば上手くいくように思います。

<委員>

- ・策定委員会の委員として参加できて良かったと思っています。地区内のひとだけでやっていくのか、外部の方も入っていた方が良いかはありますが、景観計画もそこに住んでいる人が住み続けられるような仕組みであるべきだと思いますし、そのようなまとめ方ができたのではないかと考えています。

<委員>

- ・日吉も人口が減っていますので、中山道を活かして、人が集まる仕掛けが大事ではないかと思っています。市の総合計画と整合した景観計画になっていますので、文化財や田園を上手に残してやっていければと思います。

<委員>

- ・植物の話をたくさんさせて頂きましたが、委員会に参加して景観の話もおもしろいと思いました。

<委員>

- ・景観の法律を読んでも良く分からなかったが、2年前の委員長の講演を聞いて半分ぐらいは分かったような気がします。文化財はひとつの物件しか扱いませんが、景観はもっと大きく取り扱っているように思います。生活のなかに溶け込んでいくのが良いと思います。

<委員>

- ・様々な意見を取り入れ良いものができたと思います。今後、過疎地域をどうしていくのか。高齢者が増えて次の担い手がない状況ですので、ボランティア活動に拠るところが大きくなるのではないかと思います。観光事業として集客できていければ良いのではないのでしょうか。

<委員>

- ・これまで景観について日頃は意識していませんでしたが、委員会に参加して風景などを意識する様になりました。商工会議所では小学生に作文を募集しておりますが、景観は守ってだけでなく育てていくことが必要と感じています。

<委員>

- ・以前に馬籠での仕事で地元説明に行った際、非常に熱意を持っている方がお

られました。その様な人がいらっしゃるから地域の景観が保たれており、周りの住民の方もついてきているように感じました。地元のリーダーの存在と行政のリーダーシップが大切ではないでしょうか。

<委員>

- ・みなさんの地元への愛着を感じる委員会でした。条例も含めて景観計画はツールですので、地域協議会での取り組みが今後大切だと思います。最初から地元だけでは動かないので、行政のバックアップが必要だと思います。

<委員>

- ・できあがったマップを見ると、風景が思い浮かび、瑞浪とはどんなまちであるかを説明することができます。土木事務所では道路や河川を管理していますが、瑞浪でも河川整備でコンクリートブロックの色への配慮をしています。

<副委員長>

- ・ふるさととは生まれた場所だけでなく、いくつもあって良いと思っていて、景観形成の目標にある「ふるさとを創る」という表現が気に入っています。計画がまとまり、市民に周知され、子どもたちが大人からどうまちを受け継ぐか、そして、今後來訪者にも瑞浪の良い所をもっと知ってもらいたいと思います。

<委員長>

- ・原風景を残していくことが必要です。そのためには、自分のまちを自分の目で見るのが大切です。地元だけの取り組みではなく、外部の力があって良いと思います。特にこれからの若い人の力を活用していければ良いですね。今後協議会をつくっていくには、地元のリーダーとそれをバックアップする行政の動きが必要です。景観計画の策定はスタート台に立ったところですので、ものづくりではなく、ひとづくりを大切にしてもらいたいです。

以 上